

平成24年度 長崎市提案型協働事業 1次審査結果一覧

種別		行政提案型	市民提案型				
団体名		財団法人ながさき地域政策研究所	現川川をきれいにしよう会	NPO法人市民後見人の会・ながさき	長崎史談会	NPO法人フリースクール クレイン・ハーバー	
事業名		国民健康保険加入者（自営業主）に対するCKD周知と予防啓発事業	現川町地域の活性化に向けた美化推進事業	市民後見人の養成および支援事業	まちなか再発見プロジェクト	高校中途退学者の退学時における進路支援事業	
事業費総額（円）		1,828,000	700,000	1,055,000	1,000,000	866,000	
審査項目		配点	各項目における平均点				
①	目的の明確性	5	4.0	4.0	4.3	3.8	4.3
②	課題の把握	5	3.8	3.7	4.3	3.5	4.5
③	協働の必要性	10	6.7	7.3	7.7	6.7	7.3
④	協働による相乗効果	10	7.0	8.0	7.7	7.3	7.3
⑤	協働の役割分担	5	3.3	3.7	3.5	3.3	3.7
⑥	事業の企画力及び広域性、他地域への波及効果	10	6.3	7.7	7.7	7.0	6.3
⑦	事業の実施能力	15	12.0	12.0	11.5	11.5	11.0
⑧	事業の計画性	15	10.5	10.5	10.5	10.0	10.5
⑨	事業の継続性、発展性	15	10.0	10.5	11.0	10.5	10.0
⑩	事業への熱意	10	6.7	7.0	7.7	6.7	7.7
合計点（点）		100	70.3	74.4	75.9	70.3	72.6
得点率（％）		100	70.3	74.4	75.9	70.3	72.6
審査結果		採択	採択	採択	採択	採択	
審査会コメント		<p>事業の内容について、美容組合の承諾を得ていない点など事業の実現可能性に疑問が残る。2次審査では事業の実現可能性を明確に示してほしい。</p> <p>今回のプレゼンテーションでは、行政と協働する意義があまり感じられなかった。公益法人と行政が協働する意義としては、事業に市民が参画していることが重要だと思うので、2次審査会ではその点もしっかり示してほしい。</p> <p>また、今回提案があった事業内容と、行政提案を行った担当課の意図とに温度差を感じた。2次審査までに団体と行政とで事業のすり合わせをしっかり行い、審査会に臨んでほしい。</p>	<p>自分たちの地域は自分たちで守るということは、市民力の基本であり、事業の目的などには共感できる。</p> <p>また、協働で実施することで事業費の削減につながることも評価でき、さらには、この事業形態がモデルとなり全市的に広がることも期待できる。</p> <p>しかし、これまで団体がボランティアで行ってきたことに対し、人件費を出すことで、事業を継続して実施することや、団体を安定して運営していくことに不安が残るため、2次審査では、事業を継続して実施していく仕組みや、団体の安定した運営の見通しなどを提示してほしい。</p>	<p>市民後見人を育成する意義や必要性、そして他の専門の後見人との違いを確認するためにも、2次審査では現在考えている養成講座のプログラムなど、具体的なものを提示してほしい。</p> <p>また、養成講座で育った人材をどのようにフォローしていくのかが伝わらなかったため、その点についても具体的に提示してほしい。</p>	<p>貴重な歴史的な情報をなくさないためにヒアリング調査を行い、記録していくことについては意義のあることであると共感する。</p> <p>しかし、行政と協働する必要性があまり伝わらなかったため、2次審査では、行政と協働する意義や、冊子を作ることが単に団体の調査・研究にとどまらず、長崎市のどのような施策につながっていくのかを明確に示してほしい。</p> <p>また、1次審査のプレゼンテーションは、口頭だけで行ったことから、説明内容がわかりにくく、事業への熱意もあまり伝わってこなかった。2次審査ではプレゼンテーションの資料を必ず作成し、どのような冊子を作ろうとしているのか具体的に提示してほしい。</p>	<p>高校の中途退学者の進路の幅を広げる事業であり、中途退学者の入り口の事業として非常に共感できる。</p> <p>しかし、提案内容にあった中途退学者の情報を把握、管理することについては、実現可能性に疑問が残るため、2次審査までに担当課と十分に協議してほしい。</p> <p>また、団体の決算書などから団体の経済的自立度、信用度についても疑問が残る。団体の運営について、適切な専門機関へ相談するなどして、今後どのようにしていくのかを2次審査の際に示してほしい。</p>	